

5 魅力発信

<東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた万全の準備と円滑な運営>

○聖火リレー準備・運営事業（開催準備課） 209,500千円（R2 630,000千円） （R2 繰越予算と合わせ 778,500千円）

オリンピック聖火リレーを通じて、県内の産業や自然、歴史・伝統文化と先進的なまちづくりが融合した都市など本県の魅力を発信します。

また、パラリンピック聖火リレーを通じて、多様な方々が集まり、出会うことで、共生社会について考えるきっかけとしていきます。

[事業内容]

- 1 オリンピック聖火リレー 5,800千円（R2 繰越予算と合わせ 574,800千円）
 - ・出発式、各日の到着イベント、リレー沿道警備等の実施 574,800千円
 - [県内実施期間] 令和3年7月1日（木）～7月3日（土）

- 2 パラリンピック聖火リレー 203,700千円
 - ・採火（式）、集火式、出立式、リレー沿道警備等の実施 203,700千円
 - [県内実施期間] 令和3年8月18日（水）

○事前キャンプ受入事業（事前キャンプ・大会競技支援課） 180,000千円（R2 180,000千円）

東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプの誘致を進めるとともに、オランダ水泳チーム等の事前キャンプを受入れます。

[事業内容]

- 1 キャンプ誘致・受入準備 4,390千円
- 2 事前キャンプ実施事業 175,610千円

○ホストタウン・事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策事業【新規】
(事前キャンプ・大会競技支援課) 870,000千円

東京2020大会の前後に、県内で行われる事前キャンプ及び事後交流等において、選手等に対しPCR検査を実施するとともに、移動・宿泊の際に感染予防策を実施します。

[主な内訳]

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・PCR検査実施経費 | 294,000千円 |
| ・移動・宿泊に係る感染予防経費 | 440,000千円 |
| ・保健医療体制の確保に係る経費 | 66,000千円 |

○東京2020ライブサイト等イベント実施事業(開催準備課)

23,000千円(R2 65,000千円)

(R2繰越予算と合わせ88,000千円)

大会期間中に県内外の多くの方が楽しめるよう、競技会場周辺においても競技の観戦や体験ができるライブサイトを設置するとともに、市町村のPRや特産品の販売コーナー等を併設したイベントを開催します。

[開催日] オリンピック期間 : 令和3年7月31日(土)、8月1日(日)

パラリンピック期間 : 令和3年8月28日(土)、29日(日)

[場 所] 県立幕張海浜公園

○東京2020大会シティドレッシング(都市装飾)事業(開催準備課)

40,000千円(R2 40,000千円)

大会開催にあわせて、国内外から千葉県を訪れる選手や観客等の移動ルート等に、大会のエンブレムやマスコット等を活用した横断幕やのぼり等を掲出し、開催都市としての装飾を行います。

[実施時期] 令和3年6月～9月

[掲出箇所]

- ・県内主要道路(選手村(都内)と県内競技会場や成田空港を結ぶルート)
東関道、京葉道、千葉東金道路、九十九里有料道路 など
- ・県内主要駅
競技会場最寄駅、都市ボランティア配置駅 など

○競技会場周辺におけるクールスポット設置事業（開催準備課）

31,000千円（R2 28,600千円）

主要駅から県内競技会場へのルートにクールスポットを設置し、観客に休憩や給水ができる場を提供するとともに、県産品の紹介や試食、県内観光の案内を行うコーナー等を併設します。

[開催日] オリンピック県内競技実施期間（令和3年7月24日（土）～8月7日（土））

パラリンピック県内競技実施期間（令和3年8月25日（水）～9月5日（日））

[場 所] 幕張メッセ及び釣ヶ崎海岸の会場周辺

○東京2020大会に向けたボランティアの育成・運営（県民生活・文化課）

76,634千円（R2 160,000千円）

都市ボランティアについて、研修等を通じて大会に向けた準備を進めるとともに、国内外からの観客等に交通案内や観光案内等のおもてなしを行い、千葉の魅力を発信します。

[事業内容]

- ・研修等の実施 2,658千円
- ・活動ブース設置・成田空港エリア運営 69,641千円
- ・活動映像作成 4,335千円

○東京2020大会の文化プログラムを契機とした文化力向上事業

（県民生活・文化課、文化財課）

4,379千円（R2 246,682千円）

（R2繰越予算と合わせ214,969千円）

東京オリンピック・パラリンピックの大会機運を醸成するとともに、本県の魅力を県内外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。

[主な事業]

- ・ちばアート祭実施事業 R2繰越予算194,561千円
オリンピック・パラリンピック開催期間中に、「ちば文化資産」を活用したアート祭（絵画・写真展、ワークショップ等）を実施します。
- ・千葉・県民音楽祭実施事業 R2繰越予算16,029千円
オリンピック・パラリンピック開催1か月前にあわせ、プロの音楽家と一般公募の県民による参加型コンサートを実施します。
- ・千葉からはばたく新世代アート展 4,379千円
県内出身の新進の芸術家にスポットを当てた作品展を開催するとともに、ワークショップ等を実施します。

[時期]令和3年7月～9月（予定） [場所]県立美術館

○東京2020大会広報・記録事業（開催準備課） 90,000千円（R2 90,000千円）

大会に対する関心を高め、大会機運を盛り上げるため、県内開催競技等について情報発信します。

また、競技結果や聖火リレー等の実施状況のほか、県や市町村等の大会への取組を後世に残すため、記録誌を作成します。

[事業内容]

- ・ 広報事業 40,000千円
- ・ 記録誌等作成事業 50,000千円

○オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業〔再掲〕

（教育政策課）14,000千円（R2 14,000千円）

児童生徒が国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身に付けるため、オリンピック・パラリンピック教育を引き続き実践します。また、大会に向け更なる機運醸成を図るとともに、大会観戦を活かした教材を作成するなど大会後も無形のレガシーを引き継いでいきます。

○障害者スポーツ振興事業（障害者福祉推進課） 32,265千円（R2 40,945千円）

県内にコーディネーターを派遣し障害者スポーツ大会等を開催するとともに、市町村や競技団体、障害者施設を運営する法人等が障害者スポーツの拠点づくりをする場合に支援します。また、障害者スポーツを広く県民に周知するため、障害者スポーツ競技団体が実施する競技体験会等への助成や障害者スポーツ交流大会などを実施します。

[主な事業]

- ・ 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業 12,390千円
 - コーディネーター派遣事業 5,520千円（R2 9,200千円）
 - スポーツ拠点づくり支援事業 6,870千円（R2 6,870千円）
- ・ 障害者スポーツ競技団体支援事業 5,200千円（R2 5,200千円）

○特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業（特別支援教育課）

9,441 千円（R2 15,000 千円）

共生社会の形成に向けて、障害者スポーツを身近なものにするとともに、障害者スポーツによる学校と地域の交流や地域に根付いた持続可能な障害者スポーツの拠点づくりを進めます。

〔主な事業〕

- ・特別支援学校拠点校（10校）による障害者スポーツ大会等の開催 3,350 千円
- ・地域の障害者スポーツ継続・発展のための啓発 2,564 千円

○東京2020大会を活用した情報発信事業（報道広報課）

27,712千円（R2 32,000千円）

国内外から多くの方々が本県を訪れる東京2020大会を絶好の機会ととらえ、大会期間中の本県観光地への来訪や、大会後の再訪を促すため、様々な機会を通じて千葉の魅力を発信します。

〔事業内容〕

- ・「東京2020大会プロモーション動画」を活用した海外への魅力発信 7,726 千円
- ・訪日外国人への情報発信 4,866 千円
- ・東京2020大会関連イベント等における千葉の魅力発信 11,906 千円
- ・ちばの魅力発信隊事業 3,214 千円

○東京2020大会を契機とした観光プロモーション事業

（観光企画課、観光誘致促進課）

20,700 千円（R2 48,700 千円）

（R2 繰越予算と合わせ 48,700 千円）

東京オリンピック・パラリンピックのため本県を来訪する多くの方に対し、千葉県を知っていただき、「また千葉県に来たい」と思っていただけのように、競技会場周辺で開催されるイベント等により本県の観光PRを行います。

〔事業内容〕

- ・競技会場周辺等における観光PR 10,300千円
- ・宿泊施設における観光PR 10,400千円

○東京2020大会を契機とした県産農林水産物PR事業（流通販売課）

45,665千円（R2 53,665千円）

国内外から多くのメディアや観光客の来訪が見込まれる絶好の機会を捉え、大会を契機とした輸出促進と消費拡大を図るため、県産農林水産物の試食等を通じたPR活動を実施します。

[事業内容]

- ・開催期間中のメディア向けPR 27,235千円
大会会場、メディアセンター等における試食提供
- ・開催期間中の来場者向けPR 18,430千円
大会会場、幕張海浜公園ライブサイト、聖火リレーセレブレーション会場等における県産農林水産物のPR

[参考：令和2年度2月補正予算案計上事業]

○外国語サイトによる情報発信事業【新規】（観光誘致促進課）

24,300千円

オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、外国人旅行者への情報発信を強化するため、スマートフォンなどでの問合せにAIが会話形式で応答するAIチャットボットの導入や、必要な情報を集約した英語版の特設サイトを構築し、外国人旅行者の利便性の向上を図ります。

- ・AIチャットボットの導入 14,600千円
- ・外国語特設サイトの構築 9,700千円

○県立九十九里自然公園整備事業（自然保護課）

111,000千円（R2 100,000千円）

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、県立九十九里自然公園の利用の増進を図るため、サーフィン競技の会場である一宮町釣ヶ崎海岸地区に自然公園施設（園地）を整備します。

<国内での魅力づくり>

○東京湾アクアライン料金割引事業（道路計画課） 500,000千円（R2 500,000千円）

地域経済の活性化、首都圏の交流・連携の強化等を通じ、千葉のポテンシャルをさらに高めるため、東京湾アクアライン通行料金の引下げを継続します。

[概要]

- ・内容 ETC車を対象に普通車800円など、全日・全車種について引下げ

○観光地魅力アップ整備事業（観光企画課） 280,000千円（R2 280,000千円）

観光地の魅力向上を図るため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内所等の設置・改修について、その経費の一部を助成します。

[事業内容]

1 観光トイレ

- ・市町村施設 補助率：2/3以内
- ・民間施設 補助率：3/4以内

2 トイレ以外

- ・市町村施設 補助率：2/3以内
- ・民間施設 補助率：1/2以内（市町村補助1/6と合わせて2/3）

○千葉の魅力発信推進事業（報道広報課、観光企画課） 195,500千円（R2 180,272千円）

千葉県の知名度やイメージを高めるため、テレビ、ラジオ、新聞広告による広報に加え、チーバくんを活用した情報発信等により、千葉の魅力を県内外に発信します。

[主な事業]

・テレビ・ラジオを活用した情報発信	128,142千円
・交通広告	5,000千円
・新聞広告	8,062千円
・チーバくんによる情報発信	24,815千円
・観光物産情報ラジオ番組	10,500千円

○県産農林水産物魅力発信事業（流通販売課、畜産課、水産課）

15,730千円（R2 43,170千円）

県民及び首都圏の消費者に向けて、県産農林水産物の魅力を発信するため、PR活動やキャンペーン活動を実施します。

[主な事業]

・千葉県フェアの開催	4,121千円
・「チバザビーフ」PR活動	1,800千円
・「千葉の海」丸ごと満喫事業	3,517千円
・PR冊子、ポスター作成等	3,552千円

○観光プロモーション事業（観光誘致促進課）

89,078千円（R2 89,078千円）

ちばプロモーション協議会による全県統一キャンペーンや、グルメをメインに据えた観光プロモーションを展開します。また、中京圏や北海道等からの教育旅行のさらなる誘致に取り組みます。

[事業内容]

・ちばプロモーション協議会による観光キャンペーン	29,000千円
・各種メディアを活用した情報発信	26,000千円
・各種ガイドブック等の作成	31,078千円
・教育旅行誘致事業	3,000千円

○期間限定アンテナショップ事業（観光企画課）

20,400千円（R2 20,400千円）

特産品や観光をはじめとした、本県の魅力を幅広く情報発信するとともに、市場動向の調査を行うため、都心に期間限定でアンテナショップを出店します。

[事業内容]

- ・設置場所：東京都内
- ・設置期間：1か月間（11月頃を想定）

○鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業（観光誘致促進課）

15,000千円（R2 15,000千円）

県内での新たな観光需要等を掘り起こすため、鉄道・バス事業者、市町村、観光事業者等と連携し、フリー切符など鉄道を活用した県内周遊プロモーションを実施します。

[事業内容]

県内周遊フリー切符の販売 15,000 千円

[利用路線] 県内の主要路線、ローカル線 等

[主な誘客エリア] 東総、九十九里、中房総、南房総エリア 等

[販売期間] 秋（予定）

[有効期間] 2日間（予定）

○千葉県映画・テレビ等撮影支援事業（観光誘致促進課）5,000 千円（R2 20,000 千円）

（債務負担行為 15,000千円）

観光客の一層の増加及び地域経済の活性化を目的として、県内の魅力的な観光スポット等を広く発信する映画やテレビ番組等のロケーションにかかる費用に対し助成します。

[補助率] 1/2

[補助限度額] 大規模な撮影に係るもの 5,000千円以内

上記以外 500千円以内

[補助対象経費] 県内での宿泊費、施設使用料、食糧費 等

○成田空港活用協議会負担金（空港地域振興課） 25,000 千円（R2 25,000 千円）

成田空港を活用した県経済の活性化を図るため、官民が連携して設立した「成田空港活用協議会」の事業費等の一部を負担します。

[協議会事業の柱]

- ・成田空港を活用した経済活性化
- ・成田空港を利用する人流・物流の拡大

○成田空港周辺の地域づくりに向けた検討事業（空港地域振興課）

30,000 千円（R2 28,000 千円）

成田空港の更なる機能強化を最大限活かした周辺地域の活性化の実現に向け、民間事業者の参入しやすい地域づくりを行うため、土地利用の規制緩和等に係る国家戦略特区制度の活用を目指します。

<海外への魅力発信>

○外国人観光客向けプロモーション事業（観光誘致促進課）

19,900千円（R2 43,626千円）

成田国際空港を擁する優位性等を活かして、外国人観光客を積極的に誘致するため、海外国際観光展でのPRや商談会等を実施します。

[主な事業]

- ・海外国際観光展・現地商談会等への参加 15,780千円
- ・国内インバウンド商談会 1,200千円

○世界に向けた千葉の魅力発信推進事業（報道広報課） 63,800千円（R2 66,000千円）

千葉の魅力を世界に発信するため、観光地や食、文化を紹介するPR動画の配信や、チーバくんを活用した情報発信に取り組みます。

[主な事業]

- ・SNS、チーバくんを活用したプロモーション 35,647千円
- ・世界に向けた千葉の魅力PR動画の配信 8,813千円
- ・海外現地メディアを活用した海外への情報発信事業 2,721千円
- ・成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出 6,619千円

○「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業（流通販売課）

29,590千円（R2 61,500千円）

県産農林水産物の輸出を拡大するため、輸出に取り組む生産者・団体への支援を行います。

[主な事業]

- ・千葉の農林水産物輸出促進事業

24,000千円

海外販路の拡大を図るため、輸出に取り組む生産者等に対して支援します。

[実施主体] 市町村、農協、漁協、営農組織等

[補助率] 1/2以内

[対象事業]

（ソフト事業）農林水産物の海外販売促進活動、輸出向け商品開発、輸出環境整備等

（ハード事業）輸出向け生産・出荷調整設備、商品の輸送・保管改善設備等

- ・千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会事業

5,500千円

県内農林水産・食品企業に対する輸出実務支援、輸出商談会の実施、海外見本市への出展等に対して支援します。

[実施主体] 千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会

[補助率] 定 額

○姉妹州・友好都市等との交流推進事業（国際課）

12,500千円（R2 12,500千円）

本県の国際交流を促進するため、姉妹州・姉妹都市である米国ウィスコンシン州及びドイツのデュッセルドルフ市、友好都市である台湾の桃園市との交流事業等を行います。

[事業内容]

- ・ウィスコンシン州との交流事業 5,410千円

- ・デュッセルドルフ市との交流事業 4,733千円

- ・桃園市との交流事業 2,357千円

○訪日教育旅行誘致事業（観光誘致促進課） 30,436千円（R2 40,634千円）

海外からの教育旅行を拡大するため、積極的な誘致活動を展開します。

[対象国（地域）] 台湾、マレーシアを予定

[事業内容]

- ・教育旅行プロモーション事業 3,500千円
- ・教育旅行関係者招請事業 2,500千円
- ・教育旅行資料作成事業 620千円
- ・千葉県訪日教育旅行促進協議会負担金 2,400千円
- ・教育旅行の連絡調整体制の整備 21,416千円

○訪日団体旅行客向けバスツアー支援事業（観光誘致促進課）

29,650千円（R2 29,650千円）

県内で周遊・宿泊する外国人団体旅行客の増加を図るため、海外旅行会社等が県内での観光・宿泊を伴う訪日団体旅行を造成・催行した場合に助成します。

[補助対象] 県内での観光・宿泊を伴うバスツアーを造成する海外旅行会社

[補助内容] 最大15万円

[条件] 県内有料観光施設へ1か所以上立ち寄り、かつ県内宿泊施設に2泊以上すること

○成田国際空港店舗内ミニアンテナショップ事業（観光企画課）

6,100千円（R2 6,100千円）

外国人向け県産品の認知度向上や販売促進を図り、併せて新たな商品開発のためのデータを取得するため、ミニアンテナショップとして成田国際空港内の店舗に県産品を取り扱うコーナーを設置します。

[事業内容]

- ・設置場所：千葉トレードセンター（第1ターミナルビル）
ちばぼうきょう（第2ターミナルビル）
- ・設置期間：通年